

(1) 年齢階級別退院患者数

対象期間: 2015/04/01～2016/03/31

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90以上
患者数	1	1	34	145	344	656	1541	1201	420	31

【解説】一般病棟に入院された年齢階級別の退院患者数を示しています。
がんは60歳代以降増加するため、60歳代、70歳代が1000人を超えています。

対象期間:2015/4/1~2016/3/31

○消化器内科(診療科コード500)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
胃癌の内視鏡切除	060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・ 粘膜切除術 手術・処置等2なし	93	7.24	9.20	0	71.78
大腸ポリープの内視鏡切除	060100xx02xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	24	5.08	7.53	0	66.83
肝細胞癌のカテーテル治療	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術あり 手術・処置等2なし	17	8.47	11.98	0	70.47

【解説】 消化器内科は、多数の内視鏡治療を行っています。

肝細胞癌カテーテル治療は、血栓塞栓術 選択的動脈化学塞栓術のことで、IVR科が行っています。

○消化器外科(診療科コード510)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肝細胞癌のカテーテル治療	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術あり 手術・処置等2なし	71	10.24	11.98	4.23	67.73
結腸癌の腹腔鏡下手術	060035xx0100xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	64	16.31	17.41	1.56	66.03
胃癌の腹腔鏡下手術	060020xx02x0xx	胃の悪性腫瘍 腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	47	17.45	16.02	0	69.13

【解説】 消化器外科は、肝胆膵外科、食道胃外科、大腸骨盤外科の3グループからなります。

最も多い、肝細胞癌の血栓塞栓術 選択的動脈化学塞栓術は、IVR科が担当しています。

多数の腹腔鏡下手術を行っています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肺癌の化学療法	040040xx9904xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり	173	15.35	13.38	0	68.44
肺癌の化学療法	040040xx9908xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等28あり	76	14.12	11.62	0	65.96
肺癌(その他)	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	38	12.03	15.00	0	69.55

【解説】 最も多い症例は、化学療法です。また、抗がん剤の中では「ペバシズマブ」、「カルセド」や「エトボシド」の
件数が増えています。

○呼吸器外科(診療科コード160)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
肺癌の胸腔鏡下手術	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし	93	11.83	13.03	0	66.57
肺癌の化学療法	040040xx9908xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等28あり	27	14.00	11.62	0	65.67
肺癌の生検	040040xx99100x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	23	2.78	3.29	0	69.35

【解説】 消化器外科と同じく、多数の胸腔鏡下手術を行っています。超音波気管支鏡(EBUS)を用いた経気管支針生検を多く行っています。

○泌尿器科(診療科コード310)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
前立腺癌の手術	110080xx01x0xx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	86	23.88	14.03	0	66.69
膀胱癌の経尿道的手術	110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	37	12.30	7.59	0	73.51
前立腺癌の放射線治療	110080xx9903xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等23あり	12	6.17	4.30	0	69.33

【解説】 前立腺癌には、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術を中心に行っています。密封小線源治療(前立腺癌に対する永久挿入法)(I125)という最新の放射線治療を行っています。

○婦人科(診療科コード330)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
子宮癌の手術	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	83	13.28	13.97	0	57.19
子宮癌の化学療法	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	64	5.47	5.33	0	61.22
卵巣腫瘍の手術	120070xx01xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 開腹によるもの等	49	11.88	10.43	0	47.22

【解説】 婦人科は、子宮内膜癌、子宮頸癌の子宮全摘術が多く、次いで化学療法が多くなっています。

○乳腺外科(診療科コード111)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
乳癌の手術(腋窩リンパ節郭清なし)	090010xx03x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳房悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの) 手術・処置等2なし	87	9.60	6.79	0	59.03
乳癌の化学療法	090010xx99x40x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	77	9.06	4.66	0	57.74
乳癌の手術(腋窩リンパ節郭清あり)	090010xx01x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳房悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等 手術・処置等2なし	73	13.9	11.63	0	55.03

【解説】 乳房全摘の対象で乳房再建術希望のある患者さんには、形成外科が乳房再建術を実施しています。

○形成外科(診療科コード130)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
リンパ浮腫の手術	070520xx97xxxx	リンパ節、リンパ管の疾患 手術あり	14	9.29	10.59	0	53.21
乳癌術後の手術	090010xx04xxxx	乳房の悪性腫瘍 動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	-	-	-	-	-
瘢痕拘縮の手術	070570xx012xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術等 手術・処置等12あり	-	-	-	-	-

【解説】 形成外科は、がん切除によって失われた組織を再建し、QOL向上のための手術を行っています。
 上肢・下肢のリンパ浮腫の顕微鏡下リンパ管吻合術、乳癌術後の乳房再建術や瘢痕拘縮形成手術も行っていきます。

○血液内科(診療科コード480)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
非ホジキンリンパ腫の化学療法	130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	60	19.00	17.69	0	71.57
非ホジキンリンパ腫の化学療法 (カテーテル挿入あり)	130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等24あり 副傷病なし	54	35.11	36.93	0	67.85
白血病の化学療法(輸血あり)	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等22あり	42	48.45	43.59	4.76	67.36

【解説】 血液内科は、非ホジキンリンパ腫の中でも「びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫」を数多く治療しています。

○腫瘍内科(診療科コード011)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
胃癌の化学療法	060020xx99x30x	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等23あり 副傷病なし	36	5.44	6.67	0	63.33
食道癌の化学療法	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。) 手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	26	9.31	9.95	0	63.42
膵臓癌	06007xxx99x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	20	3.80	10.10	0	68.45

【解説】 腫瘍内科は抗がん剤治療の専門治療科であり、治験や臨床試験も実施しています。
 呼吸器内科と血液内科で取り扱わない化学療法の対象となるすべての悪性腫瘍を対象としています。

○放射線治療科(診療科コード271)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
甲状腺癌の放射線治療	100020xx99x2xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等22あり	32	3.63	6.82	0	61.09
転移性骨腫瘍の放射線治療	070040xx99x2xx	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)手術なし 手術・処置等22あり	-	-	-	-	-

【解説】放射線治療科は、他のがんの入院治療例は、各々の診療科が担当しているため、こちらの統計値には反映されていません。多くの症例は、外来通院で放射線治療を行っています。
甲状腺癌のヨード治療(I131内用療法)を多数手がけています。

○緩和ケア科(診療科コード640)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
膵癌	06007xxx99x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	-	-	-
肝細胞癌	060050xx99x00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	-	-	-
転移性骨腫瘍	070040xx99x2xx	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)手術なし 手術・処置等22あり	-	-	-	-	-

【解説】緩和ケア科は、各診療科からの紹介が多く病名が多岐にわたるため、表中の患者数は全て10件未満です。

○整形外科(診療科コード121)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
滑膜肉腫の化学療法	070041xx97x3xx	軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く。)その他の手術あり 手術・処置等23あり	-	-	-	-	-

【解説】整形外科(骨軟部腫瘍科)は、骨と軟部組織(筋肉や脂肪など)の悪性腫瘍を扱う診療科です。
当センターは現在は外来のみ非常勤医師が診療です(H27年度以降)。

(3) 初発の5大癌のUICC病期分類ならびに再発患者数

対象期間: 2015/04/01～2016/03/31

悪性腫瘍分類 (UICC TNM分類) 第7版使用

5大癌	初発					再発
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	
胃癌	145	17	22	70	10	23
大腸癌	44	28	59	42	23	32
乳癌	149	105	54	12	5	28
肺癌	74	39	108	188	28	225
肝癌	13	8	7	11	11	99

【解説】 5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)の病期(ステージ)別、初発患者数を示します。ステージが増えるにしたがって、がんが進行していることを示しています。「再発」は当センターで初発と診断され、その後再発した患者さんと、他院で初発と診断され、再発のため当センターを受診した患者さんを合わせた数となっています。

(4) 成人市中肺炎の重症度別患者数

対象期間: 2015/04/01～2016/03/31

10未満の数値は、—(ハイフン)を記入しています。

	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度0	—	—	—
重症度1	—	—	—
重症度2	—	—	—
重症度3	—	—	—
重症度4	—	—	—
重症度5	—	—	—
不明	—	—	—

【解説】 当センターはがん専門病院のため、肺炎で入院される患者さんは限られます。重症度0がもっとも症状が軽く、数字が大きくなるにつれ症状が重くなります。昨年の患者数は9名、平均在院日数は17.89日、平均年齢は71.56歳でした。

(5)脳梗塞のICD-10別患者数

対象期間:2015/04/01~2016/03/31

10未満の数値は、—(ハイフン)を記入しています。

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

【解説】 当センターはがん専門病院のため、肺炎と同様、脳梗塞入院される患者さんは限られます。
昨年、70歳以上の患者さんが、入院中に脳梗塞や一過性脳虚血発作(TIA)を発症したケース数件ありました。

対象期間:2015/4/1~2016/3/31

外科

○消化器外科(診療科コード510)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	59	1.75	7.81	5.08%	69.02
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	51	4.47	11.47	1.96%	66.39
K655-22	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	47	4.36	12.96	0.00%	69.45

【解説】肝細胞癌に対して行われる「血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術」が最も多くなっていますが、治療は、IVR科が行っています。腹腔鏡下手術に積極的に取り組んでいます。

○呼吸器外科(診療科コード160)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	43	2.74	9.35	0.00%	68.42
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	22	2.91	6.14	0.00%	62.45
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	17	2.53	9.18	0.00%	68.12

【解説】消化器外科と同様、胸腔鏡下手術に積極的に取り組んでいます。

○泌尿器科(診療科コード310)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K843	前立腺悪性腫瘍手術	81	3.68	18.85	0.00%	66.62
K8036□	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	39	1.51	10.10	0.00%	74.03
K843-3	精巣摘出術	10	6.30	10.50	0.00%	75.60

【解説】当センター泌尿器科は前立腺癌の治療に力を入れており、前立腺悪性腫瘍手術が手術全体の48%となっています。

○婦人科(診療科コード330)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K877	子宮全摘術	108	2.46	9.58	0.00%	53.44
K867	子宮頸部(陰部)切除術	64	1.06	3.33	0.00%	34.38
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	43	2.16	8.33	0.00%	47.44

【解説】子宮癌を数多く治療しています。

○乳腺外科(診療科コード111)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K4762	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	89	2.00	6.66	0.00%	59.54
K4765	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの	61	2.08	11.20	0.00%	54.95
K4763	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	60	2.00	9.95	0.00%	55.98

【解説】「乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)」が乳腺外科手術の36%を占めています。

○形成外科(診療科コード130)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術	25	2.56	8.12	0.00%	50.60
K628	リンパ管吻合術	14	1.14	7.14	0.00%	53.21
K0221	組織拡張器による再建手術(一連につき)乳房(再建手術)の場合	-	-	-	-	-

【解説】「ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術」を始め、乳がん患者のQOL向上のための手術患者が過半数を占めています。

内科

○消化器内科(診療科コード500)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	94	1.07	5.16	0.00%	71.79
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	44	1.00	4.07	0.00%	67.16
K7212	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	24	1.04	2.42	0.00%	65.75

【解説】当センターは、早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術に積極的に取り組み、多数の治療例があります。

以下、内科系診療科の手術は、いずれも化学療法のために必要なカテーテル留置がほとんどです。

○腫瘍内科(診療科コード011)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	43	2.56	8.12	0.00%	50.60
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	11	2.36	13.64	0.00%	64.82
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-

○血液内科(診療科コード480)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	63	4.02	31.78	0.00%	68.81
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K745	肛門周囲膿瘍切開術	-	-	-	-	-

○呼吸器内科(診療科コード340)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	-	-	-	-	-

○整形外科(診療科コード121)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K639	急性汎発性腹膜炎手術	-	-	-	-	-

○緩和ケア科(診療科コード640)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	-	-	-	-	-
K651	内視鏡的胃・十二指腸ステント留置術	-	-	-	-	-

【解説】緩和ケアに必要な処置として治療が行われています。

○放射線治療科(診療科コード310)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
-		-	-	-	-	-
-		-	-	-	-	-
-		-	-	-	-	-

【解説】手術例はありません。

(7)その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発症率)

対象期間:2015/04/01~2016/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	請求率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	11	0.25%
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	17	0.39%
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	19	0.43%
		異なる	-	-

【解説】入院した時の疾患と入院後の最も治療費を投じた疾患が同じ場合、入院契機が「同一」となり、そうではない場合、「異なる」と分類しています。
当センターはがん専門病院であるため、播種性血管内凝固症候群、敗血症で入院することはなく、がんの治療あるいはがんの進行により生じるものです。手術、処置等の合併症として、創部感染、術後出血、縫合不全などがあります。